



明石市立  
文化博物館

# 文化博物館だより 第182号

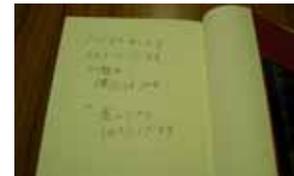
2007年8月16日

みなさん、こんにちは。暑い日が続きますね。夏バテしていませんか？

## ● 観覧者が100万人を達成しました！

平成3年10月に文化博物館が開館してから15年。平成19年8月12日に延べ観覧者数が100万人を突破しました。文博を愛してくださる皆さま、ありがとうございます。

記念すべき100万人目のお客様は神戸市西区からお越しの三石様ご夫妻。これまででも与勇輝展や片岡鶴太郎展をご観覧いただいたそうです。三石様ご夫妻には記念品としてうめさんの直筆サイン入り写真集が送られ、博物館入口前には市樹である金木犀が植樹されました。



うめさんの直筆サインです



100万人目のお客様

## ● ふご編みの実演が行われました。

8月12日、うめさんの人形にも出てくる「ふご編み」を西川隆明さんと加茂田はる子さんに口ビーにて実演していただきました。ふごとは竹や藁を網状に編んで持ち運べるようにしたものです。地域によって呼び名が違うようで、お客様から「自分の田舎では“はいどら”と言っていた」という紹介もあり、お国言葉で盛り上がりました。寡黙に作業をされていた西川さんは、たった1時間半でふご編みを作り上げました。



たどたどしい手つきで縄編みにチャレンジする職員に「口で教わってもダメ。体で慣れないと」とお客様から叱咤激励が。



縄編みを小学校で習ったという70代の女性も体験。何十年もしていないそうですが、体に染み付いた動きは見事です。



みるまにふご編みを完成させる西川隆明さんと、笑顔で場を盛り上げる加茂田はる子さん。衣装も素敵です。

西川さんに作っていただいた「ふご編み」も展示室に展示しています。うめさんの人形とあわせてご覧ください。たった1時間半でできるなんて驚きの美しいものです。